

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 5 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念について、唱和する機会が持てておらず認識が徐々に薄くなってきているものと思われる。	当り前の様に理念が唱和出来、それに基づいた考え方が行えている。	①個人面談を通して、職員へ問題意識を持ち、各人毎の対策を考え、体制化していく。	3ヶ月
2	1	事業所独自の方針を掲げ、その浸透を図る。	施設方針が浸透し、職員がそれに基づく行動を行う事が出来る。	①施設方針を事務所に掲示する。 ②月毎に全体目標を掲げ、管理者やリーダーが実施状況を確認すると共に、各個人でも振り返りを行う。	9ヶ月
3	12	ご本人の思いの把握を行えていない。	ご本人の思いを把握し、計画へ落とし込む仕組みを作る事が出来る。	①ICFに基づいた、ご本人のアセスメントを実施。 ②全体目標として掲げ、ケアの実践状況だけではなく、表情や発言といった記録を残していく。 ③エピソードシートを活用し、事務所へ掲示する事で、その方の事を他職員と情報共有する。	6ヶ月
4	2	事業所と地域との繋がりとして、ボランティアとして来て頂く方をもっと増やしたい。	1回/W以上、ボランティアの方に来所頂ける。	ボランティアセンターへのポスターの掲示。 口コミやポスティング等での広報活動。	6ヶ月
5	19	調理する機会を失わず、残存能力を活かしたケアを実践する。	イベントとしておやつや食事を一から作る機会を設ける。	月一回以上の機会を設ける。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。